

新年おめでとうございます 今年もよろしくお祈りします



2013年



賀正



慶

今年も明るく希望の年になりますように  
皆様のご多幸をお祈り申し上げます  
元旦



# 1、 さすが奈良・年末年始の催し物がいっぱい！

奈良新聞には毎日のように奈良と近辺の寺社の行事・法要の予告や実況紹介の記事が並び、古墳・古墓・古跡の発掘などの記事が載らないことはない。

当方、さすがに気力・体力・興味・関心などガックリと落ち込んで、新聞抱えて跳んで行くことはないが、年末・年始の催し物の幾つかを並べておく。

- ① 除夜の鐘 = 参拝者が掲げる主な寺=東大寺、興福寺、西大寺、薬師寺、唐招提寺、安倍文殊院、岡寺、飛鳥寺、室生寺、壺阪寺など。法隆寺はアカンらしい。
- ② 歳旦祭・大祓 = 春日大社、橿原神宮、墨坂神社など。
- ③ 徹夜座禅会 = 三松寺など。座禅をして歳を過ごせるのは素晴らしい。
- ④ 四方拝、初太鼓、歳旦祭 など=橿原神宮、大神神社、談山神社、吉野神宮など。
- ⑤ 初祈禱、初護摩 = 観音妙法寺、安倍文殊院、岡寺、金峰山寺蔵王堂など。
- ⑥ 舍利講 = 法隆寺など。どういうものか小生、内容は知らず。
- ⑦ 修正会 = 信貴山朝護孫子寺、長谷寺、壺阪寺、霊山寺、薬師寺、唐招提寺など。
- ⑧ 弓始め = 大和神社、                      ⑨ 神楽式 = 談山神社、
- ⑩ 大とんど = 安倍文殊院、信貴山朝護孫子寺、大神神社、
- ⑪ 修二会 = 金剛山寺、東大寺、霊山寺、薬師寺、法隆寺など。これも判らんが。
- ⑫ 山焼き = 若草山 (1/26)

## 花暦=一月でも、いろいろアリマッセ。

- ⑬=梅= 大和民族公園、法華寺、大和文華館、月ヶ瀬梅溪、広橋梅林、賀名生梅林
- ⑭=水仙= 般若寺 ⑮=木蓮= 秋篠寺 ⑯=レンギョウ= 不退寺 ⑰=雪柳= 海竜王寺
- ⑱=椿= 護国神社、東大寺開山堂、伝香寺、白毫寺 ⑲=霧氷まつり = 御杖村三峰山

 <p><b>御敵国神社</b> 新年安全・福元福徳・凶神討伐 1月3日 午後12時30分 三輪山神社文化センター 羅子神楽奉納 TEL:0774-76-4036 http://www.kofukoku.or.jp</p>	 <p><b>大和神社</b> 「正暦は一つ」2月4日開運名神社 千代紙馬車を展示 1月4日 石門開門 神楽奉納 ●8/25 開山祭(常か光神楽) ●8/26 開山祭(常か光神楽) ●8/27 開山祭(常か光神楽) ●8/28 開山祭(常か光神楽) ●8/29 開山祭(常か光神楽) ●8/30 開山祭(常か光神楽) ●8/31 開山祭(常か光神楽) TEL:0742-45-3576</p>	 <p><b>金龍神社</b> 和歌山県大和郡内 金龍神社(大和郡) ●1月3日 開山祭(常か光神楽) ●1月4日 開山祭(常か光神楽) ●1月5日 開山祭(常か光神楽) ●1月6日 開山祭(常か光神楽) ●1月7日 開山祭(常か光神楽) ●1月8日 開山祭(常か光神楽) ●1月9日 開山祭(常か光神楽) ●1月10日 開山祭(常か光神楽) ●1月11日 開山祭(常か光神楽) ●1月12日 開山祭(常か光神楽) ●1月13日 開山祭(常か光神楽) ●1月14日 開山祭(常か光神楽) ●1月15日 開山祭(常か光神楽) ●1月16日 開山祭(常か光神楽) ●1月17日 開山祭(常か光神楽) ●1月18日 開山祭(常か光神楽) ●1月19日 開山祭(常か光神楽) ●1月20日 開山祭(常か光神楽) ●1月21日 開山祭(常か光神楽) ●1月22日 開山祭(常か光神楽) ●1月23日 開山祭(常か光神楽) ●1月24日 開山祭(常か光神楽) ●1月25日 開山祭(常か光神楽) ●1月26日 開山祭(常か光神楽) ●1月27日 開山祭(常か光神楽) ●1月28日 開山祭(常か光神楽) ●1月29日 開山祭(常か光神楽) ●1月30日 開山祭(常か光神楽) ●1月31日 開山祭(常か光神楽) TEL:0742-45-3576</p>	<p>平成25年 新しい年の幸せを祈る</p> <h1>初詣</h1> <p>奈良近郊 有名社寺 初詣ご案内</p>	 <p>巴の巻の巻せ給ふ三輪嶺下 御内宮 御外宮 大神神社 TEL:0742-45-3576</p>	 <p>心のやすらぎを願って 石上神宮 TEL:0742-45-3576</p>	 <p>談山神社 TEL:0742-45-3576</p>
 <p><b>天叡宮</b> TEL:0774-76-4036</p>	 <p><b>菅原天満宮</b> TEL:0742-45-3576</p>	 <p><b>談山八幡神社</b> TEL:0742-45-3576</p>		 <p><b>多生赤志理部比古神社</b> TEL:0742-45-3576</p>	 <p><b>賣太神社</b> TEL:0742-45-3576</p>	 <p><b>御嶽山大和宮</b> TEL:0742-45-3576</p>
 <p><b>信貴山朝護孫子寺</b> TEL:0742-45-3576</p>	 <p><b>大本山室生寺</b> TEL:0742-45-3576</p>	 <p><b>松尾寺</b> TEL:0742-45-3576</p>		 <p><b>あすか園</b> TEL:0742-45-3576</p>	 <p><b>瑞住山寺</b> TEL:0742-45-3576</p>	 <p><b>墨坂神社</b> TEL:0742-45-3576</p>

## 2、小さいのち



### 小さいのち

作曲・作詞 西村圭也



旧友・三木さんに誘われて、大阪空港や大阪音楽大学に近い豊中市の「ローズ・ホール」と言う所で西村圭也先生の中国二胡を中心とした楽器の「おさらい会」を聞かせてもらった。

演奏技能は数人を除いてまだまだ初歩だが、58組もの人達が次々と現れたのには驚いた。二胡の独奏・重奏から「フルシ」という瓢箪笛、蒙古琴まで登場する賑やかさ。

西村先生は、大阪大学卒の工学家だったが、子供さんが障害児として誕生し、以後は障害児養育活動に励んで来られたとのこと。このCD「小さいのち」は、西川先生が作詞作曲され、世界の多くの国の言葉に翻訳され、その国の人がその国の特有の伴奏で歌い、障害児教育の支えとなっているもの。インターネットで西川先生自身の歌や中国語の説明が聞けます。 <http://www.dcnb.jp/>

「おさらい会」を途中で抜けて、三人で大阪梅田へ戻り、お茶を飲みながら話し合う。私が以前に翻訳・整理し、自費出版した「中国音楽近代化の父 劉天華の生涯と作品」の研究冊子はとても喜ばれて話が途絶えることがなかった。

## 3、大阪せっかちと健康・安全

上記、三木先生と落ち合ったのがJR大阪駅1番線ホーム。そこから地下を通り、阪神百貨店のそのまた向こうへ。折り返して阪急百貨店前の歩道橋を渡って阪急梅田駅へ。

三木さんの歩きが早く必死に行っても後ろ姿を見失いそう。「スマンスマン 大阪人はせっかちヤカラ」と待ってくれるが、三木さん一人が早いのではない。みんな早く、遅いのは私一人。人も早い車も早い。緑を予想して赤のうちに走り始め、緑→黄→赤となっても突っ込んでくる。歩行者も車を制して平気で渡る。「会」を終えて西川先生と庄内駅へ向かった時の先生の歩速も早い。下校中の高校生たちにも負けずスイスイ。

「もう昔からの習慣で、早歩きしているつもりはない。流れに乗って歩けば安全。テンポを変えると危険。」「自家用車は商売や特殊勤務以外に所持しない。あれば車庫や駐車場に苦勞する。」「歩くことは苦にならず、健康的。」「大阪駅だけで数kmも歩ける。」

田舎モンは歩きませんナア 車トラジロで済ませてる。本日の歩数計=1万6千歩。

見晴るかす稲架の先に生駒山  
小菊咲き 龍田の谷を明かるうす  
初殻を焼いて法起寺いぶしけり

昼食は 弾正住みし城の跡

夢殿の相輪静か 天高し

葛城の山麓 鷹の羽根拾う

二上山 東へ向いて真っ赤なり

托鉢に深くお辞儀をする幼女

夕焼けを 並んで送るイカル鳥

サンタ帽レジ打つたびに曲がり落ち

庭木刈り生駒ケーブルの灯が見える  
大きくさめ 龍田の紅葉揺れもせず  
蹴鞠終え 神は出雲へ発ち給う

写経終え 招提あとに 日の短か

法隆寺 最後のバスに送る鐘

霜山や 昨夜の足音 鹿夫婦

行く秋や紫檀の琵琶の深き色 (正倉院展)

今日もまだボックリ寺にバスの列

雪の舞う 奈良公園の人力車

イブ避けて寺へ参れば派手ツリー



4、新春 銭湯会話

「オメットウサン」「おめでとう御座います」

「どうでしたンあれ?」「あれって何ですネン?」

「決まっとるガナ。宝くじヤガナ」「アキマヘン かすりもしまヘン」

「ワテ 元手も出えヘンサカイ、今年のオセチはマーケット物や」

「ソーカ。アテトコ 娘もかみさんも作るの好きやし 今年は伊勢エビや」

「伊勢もええけど ウチトコ 生のタラバがつかましたわ」

「ナンヤ 籤当ててハルガナ」「バレマシタカ」

「何等ヤ?」「ナンノ たいしたことアラヘン」

「そうやナ 立派なら 今頃 ここへ来イヘン 大温泉で豪遊デッシャロ」